お手入れ方法

◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側・せんユニット/パッキン

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。
※つけ置き洗いはしない。
（パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因）
●洗いにくい部分は市販の小型ブラシをご利用ください。

本体内側

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、水分が残らないよう、乾燥させる。※つけ置き洗いはしない。

食器洗浄機・乾燥機をご使用の際は、あらかじめ機器および洗剤の取扱説明書で、使用できる部品の条件（耐熱温度など）や洗浄方法をご確認ください。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- **塩素系漂白剤は使用しない。** サビ・穴あきなど故障の原因。
- **本体外側は、漂白剤を使用しない。** サビ・塗装はがれのおそれ。
- **本体内側に酸素系漂白剤を使用する際は、せんユニットを取りつけない。** 本体の内圧が上がり、せんユニットが飛び出すなど危険。
- **シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。** 傷・サビなど故障の原因 。
- **本体・せんユニットの煮沸はしない。** 傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- **本体は丸洗いできますが、つけ置き洗い（水中に放置）はしない。**
- **本体を丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。** ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- **長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。**

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

① **規定量の熱湯にクエン酸を約10g加える。**
② **約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。**
③ **十分に乾燥させる。**

- ご使用前、ご使用後は、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症　状	確認するところ	処　置
■せんユニットからもれる	安全ロックやせんユニットがしっかりとしまっていますか。	しっかりしめなおしてください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲み物を入れすぎていませんか。	規定量になるまで飲み物を減らしてください。
■飲み物（本体内側・せんユニット）がにおう	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内側、せんユニットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
■保温（保冷）が効かない	十分に熱い（冷たい）飲み物を入れていますか。	十分に熱い（冷たい）飲み物を規定量になるまで入れてください。
■本体外側の一部が白く変色した	食器洗浄機・乾燥機の洗剤や水アカが付着したものです。	変色した箇所に熱湯をかけ、すぐに乾いた布でふきとってください。熱湯をかけると本体が熱くなりますので、やけどには十分にご注意ください。

※せんユニットは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。
その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。（製品型名は製品底面に記載されています。）

①**ホームページ**…… トップページのオンラインショップからお求めください。
（取扱部品が限られておりますが、ご了承ください。）
②**販売店**…… ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
③**お客様相談窓口**…… お電話にてお申込みください。

部品名
AET型　せんユニット

※各消耗品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス　**https://www.the-peacock.co.jp**

お客様相談窓口

固定電話からはこちら	携帯電話からはこちら
0570-094891 ※固定電話からは市内通話料金でご利用いただけます。	06-6453-9489

●受付時間　9：00～17：00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

ピーコック魔法瓶工業株式会社
〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

26021C

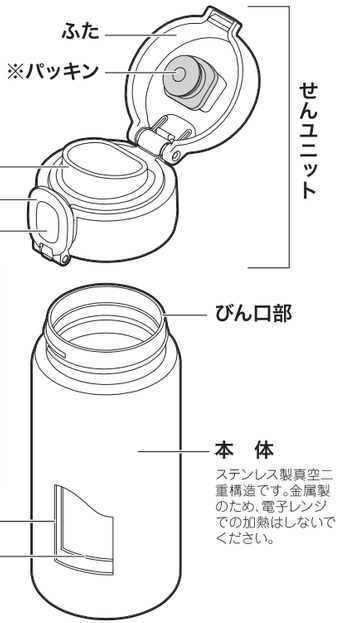
Peacock

ワンタッチマグタイプ
取扱説明書　AET 型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ

※せんユニットは一体型のため、飲み口・パッキンはとりはずしできません。



取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。 ①

安全上のご注意　ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

この取扱説明書に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
注意事項を、「警告」「注意」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれが想定される内容。
⚠注意	人が傷害を負うおそれまたは物的損害のみの発生が想定される内容。

記号について

禁止	してはいけない内容です。
必ず実施	必ずお守りください。

⚠警告

乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。
やけど・けがのおそれ。

⚠注意

熱い飲み物を入れた場合、やけどのおそれがあるので注意する。

傾けた状態や顔の近くでせんユニットやふたをあけない。
飲み物が急激に出たり、飛散してやけどのおそれ。

熱い飲み物を飲む時は、ゆっくり傾けながら飲む。
急に傾けると飲み物が勢いよくでて、やけどなどのおそれ。

熱い飲み物を入れた直後、本体をふらない。
内圧が急に上がりふたがあけにくくなったり、あける時、音がする場合があります。

次の物は絶対に入れない。

- **ドライアイス・炭酸飲料など** 本体内の圧力が上がり、せんユニットがあかなかったり、飲み物がふき出たり、部品が破損してけがのおそれ。
- **みそ汁やスープなど、塩分を多く含んだもの** サビ・保温(保冷)効果の低下の原因。
- **牛乳・乳飲料・果汁など**
  腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、部品が破損してけがのおそれ。
- **果肉・お茶の葉など** もれなど故障の原因。

⚠注意

飲み物の保温(保冷)以外に使用しない。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。 変形・変色の原因。

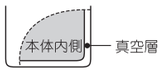
パッキンを無理に引っ張らない。 破損するともれる原因。

改造や分解修理はしない。 故障や事故の原因。

冷凍庫に入れない。 変形など故障の原因。

電子レンジでの加熱はしない。 変形や変色の原因。

真空層の内部から水の音がする場合は、使用しない。 真空層にたまった水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。



せんユニットを持って運ばない。

乗り物運転中は使用しない。
やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。
万一飲み物のもれがあった場合、精密機械の故障の原因。

飲み物は、規定量までにする。 入れすぎると、もれ・あふれ・やけどのおそれ。

せんユニットは確実にしめて使用する。安全ロックも確実にしめ、本体を傾けたりして飲み物がもれないことを確認する。
もれ・やけどなどのおそれ。

大きな氷を入れる場合は、押しこまず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。
傷・もれ・変形など故障の原因。

自動車専用の缶ホルダーを使用する場合
①あらかじめ強度を確認してから使用する。強度が十分でない場合、缶ホルダーがはずれたり破損して、やけどなどのおそれ。車内や衣服を汚す原因。
②市販の缶ホルダーは、据え置き型を使用する。ウィンドウやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型は、ホルダーがはずれる場合があるので使用しない。

⚠注意

倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。
破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれ・飲み物がもれる原因。

製品の横置きは避ける。 飲み物がもれる原因。
かばんなどに入れるときも製品を縦置きにしてください。

飲み物を入れた状態で長く放置しない。 腐敗・変質の原因。
また内圧が変わりふたがあけにくくなったり、あける時、音がする場合があります。

熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わるため、外出時は、ティーバッグなどを使用する。 お茶を保温すると、お茶の色や風味が変わります。
これはお茶の成分が時間とともに変化するためのもので、人体に害はありません。

使用後、すぐにお手入れをする。
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。
帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

食器洗浄機・乾燥機を使用する場合

食器洗浄機・乾燥機、洗剤の取扱説明書を確認の上、使用する。

製品をかごに強く当てない。 傷・変形・塗装はがれの原因。

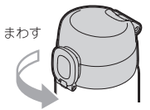
ふたをしめた状態で洗浄・乾燥しない。 変形など故障の原因。

せんユニットを無理やりかごに入れたり、重い物をのせた状態で洗浄・乾燥しない。 変形など故障の原因。

ご使用方法　はじめてご使用になる前に、本体・せんユニットを洗ってください。

1 飲み物を入れる

①本体からせんユニットを、矢印の方向にまわしてはずし、飲み物を入れる。

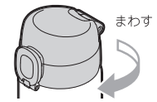


※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。
※飲み物は図の規定量までにする。



飲み物を入れすぎてせんユニットをしめると、飲み物がふき出したり後からもれ出すことがあります。入れすぎた場合は、規定量になるまで飲み物を減らしてから、せんユニットをしめてください。

②せんユニットを矢印の方向にまわし、確実にしめる。



2 ふたをあけて飲み物を飲む

①製品を立てた状態で安全ロックを下げる。
②プッシュボタンを押してふたをあけ、ゆっくり傾けながら飲み物を飲む。





3 飲み終わったら

①飲み終わったら、製品を立てた状態でふたをカチッと音がするまで確実にしめる。
②安全ロックを上げて、ロックする。

